

A black and white photograph of Emma Watson speaking at a podium. She is wearing a dark, short-sleeved top and a necklace with a heart pendant. Her hair is long and wavy. The background is slightly blurred, showing some architectural elements.

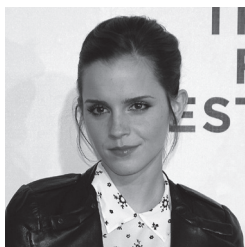
PASSIONATE ABOUT WILDLIFE

俳優・活動家

エマ・ワトソン

自然と野生動物への愛が、世界を変える力へ

2026年6月、違法な野生動物取引から絶滅危惧種を守ることを目的とした団体「United for Wildlife」が主催したフォーラムに、エマ・ワトソンが登壇した。俳優としてだけでなく、環境保護やフェミニズムの分野でも発言・活動が続けてきたワトソンは、壇上で一編の詩を朗読し、インタビューでは自身の環境保護活動の原点となるエピソードや、ファッション業界が今後どのような影響を与えられるかについて語っている。その詩の朗読とインタビューの一部をお届けする。



ゲスト

エマ・ワトソン

1990年、フランスに生まれ、その後イギリスのオックスフォードに移住。2001年に映画「ハリー・ポッターと賢者の石」でデビューし、以降、同シリーズ全作品に出演した。俳優として活躍する一方で、社会活動家としての一面も持ち、ジェンダー平等や環境問題などに積極的に取り組んでいる。また、サステナブルファッションを推進するなど、ファッション分野でも活躍している。



Listening Quiz

(67) 「夏の日」の朗読

Emma Watson Hello. Thank you so much for having me. It's so lovely to be here today. I'm going to read you a poem by one of my favorite poets, Mary Oliver.

“The Summer Day*—Who made the world? / Who made the swan, and the black bear? / Who made the grasshopper? / This grasshopper, I mean— / the one who has flung herself out of the grass, / the one who is eating sugar out of my hand, / who is moving her jaws back and forth instead of up and down— / who is gazing around with her enormous and complicated eyes. / Now she lifts her pale forearms and thoroughly washes her face. / Now she snaps her wings open, and floats away. / I don't know exactly what a prayer is, / but I do know how to pay attention [...] / how to kneel down in the grass, / how to be idle and blessed, and how to stroll through the fields, / which I've been doing all day. / [...] Tell me, what else should I have done? / Doesn't everything die at last, and too soon? / Tell me, what is it you plan to do / with your one wild precious life?”

Thank you.

Mary Oliver:

メアリー・オリバー ▶米詩人。1984年にピューリッツァー賞を受賞。自然や野生生物を通して人生を捉え、世界を愛することを表現した。1935年生まれ、2019年没。

fling oneself out of:

～から勢いよく飛び出す

jaw:

あご

back and forth:

前後に

gaze around:

辺りを(ぼんやりと)見まわす

enormous:

非常に大きい、巨大な

thoroughly:

徹底的に、念入りに

snap...open:

…をぱっと開く

float away:

ふわふわと飛んでいく

kneel down:

ひざまずく

idle:

ぼんやりしている、何もせずにダラダラ過ごしている

blessed:

恵まれている

stroll through:

～をぶらつく、散歩する

(68) 環境に興味を持ったきっかけ

Moderator Can you tell us when, how, and why you became so passionate about wildlife?

Watson Well, if it's all right, I'd like to share a story. It was very early on, when I just got cast in the *Harry Potter* films,* and

moderator:

(パネル討論会などの) 司会

(be) passionate about:

～に熱心である、夢中である

wildlife:

《集合的に》野生生物

get cast in:

(映画など)の出演が決まる

エマ・ワトソン こんにちは。お招きいただき、ありがとうございます。
今日この場に参加できて本当にうれしく思います。これから詩を朗読します、私の大好きな詩人の1人、メアリー・オリバーの作品です。

「夏の日——誰が創ったの、この世界を？/ 誰が創ったの、白鳥を、黒熊を？/ 誰が創ったの、バッタを？/ つまり、このバッタだよ/ ついさっき草むらからぴよんと飛び出してきたこの子/ 私の手ひらで砂糖を食べているこの子/ あごを上下にではなく前後に動かしているこの子のこと。/ 彼女は大きくて複雑な目で辺りを見まわす。/ それから淡い色の前あしを上げて念入りに顔を洗う。/ と、ぱっと^{はね}翅を広げて、ふわりと飛び去る。/ 祈りというのがどんなものかよくわからない、/ でも私はちゃんと知っている、注意を払うにはどうすればいいのか [中略] / 草むらにひざまずくにはどうすればいいのか、/ ダラダラと恵まれて過ごすにはどうすればいいのか、それから、野原をぶらつくにはどうすればいいのか、/ 今日はずっとそうしているし。/ [中略] ねえ、他に何をすればよかったというの？/ 全てのものは最後は死ぬんじゃないの、しかもあまりにも早く。/ ねえ、あなたは何かをするつもり？/ その自然でかけがえのない一度きりの人生で」

ありがとうございました。

■ “The Summer Day”

メアリー・オリバーによって書かれた詩。*New and Selected Poems* (vol. 1) に収録されている。草むらで1匹のバッタを眺める場面から始まり、自然について、そして最後には、一度きりの自分の人生をどう生きるのかという問いを投げかけている。ここでは一部省略している。

👑 United for Wildlife

2013年にイギリスのウィリアム王子とthe Royal Foundationによって設立された、違法な野生動物取引の根絶を目指す国際的なネットワーク。絶滅の危機にある野生動物を守るため、犯罪組織の摘発を後押しするとともに、金融機関や運輸業界と協力して、違法取引に使われる資金の流れや輸送ルートを通り切ろうとしている。日本からはANA（全日本空輸）も、違法な野生動物取引に航空機が利用されないようにすることを誓約する「バッキンガム宮殿宣言」に署名し、この取り組みに参加している。

👑 the Royal Foundation

ウィリアム王子とキャサリン妃が手がけるチャリティ財団。環境保全から幼児教育、若者支援、メンタルヘルスに至るまで、幅広いテーマに取り組むさまざまなプロジェクトを展開している。United for Wildlifeも、こうした社会課題に取り組むプログラムの1つである。

司会 あなたがいつ、どのように、どうして野生生物にここまで熱心になったのか、教えていただけますか。

ワトソン そうですね、よかったら、1つ話をさせてください。私がキャリアをスタートさせたごく初期で、映画「ハリー・ポッター」シリーズの出

■ the Harry Potter films

J・K・ローリングの「ハリー・ポッター」シリーズ（全7巻）を原作とした映画シリーズ。2001年から2011年にかけて8作が公開。エマ・ワトソンはメインキャラクターのハーマイオニー・グレンジャーを演じた。